

平成 22 年 5 月 6 日
独立行政法人
日本原子力研究開発機構
理事長 岡崎 俊雄

高速増殖原型炉もんじゅの性能試験再開について

高速増殖原型炉もんじゅは、本日、5月6日、制御棒引抜を開始し、ナトリウム漏えい事故以来、文字通り私たちの悲願であった性能試験の再開を成し遂げることができました。

これまでご支援、ご協力いただきました関係者の皆さまに、改めて感謝申し上げます。

高速増殖炉サイクル技術は、原子力発電をより長期的に安定して利用可能とすることにより、我が国だけでなく人類社会のエネルギー基盤を支える技術であり、「もんじゅ」はその研究開発の中核的施設です。

本日再開した性能試験及びその後の本格運転を通じて貴重な研究開発成果をあげ、高速増殖炉の実用化につなげていくとともに、国際的な研究開発拠点として、地元敦賀から国内外に広く研究成果を発信してまいり所存です。

原子力機構は、この14年間に得た多くの教訓を基に、「もんじゅ」の安全確保を最優先とし、透明性を高めた計画的な業務運営に機構をあげて取り組んでまいります。

引き続き皆さまのご指導、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以上